令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

		課等No.	14	事業No.	130
事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	新規
担当課等名	保健課	開始	R2	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	6	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
	分野別計画			飯田市版総合戦略
				データーヘルス計画
				地域健康ケア計画
	法令・例規等			医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律
				高齢者の医療の確保に関する法律
				高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版

事業目的		
	対象	後期高齢者
	意図	効果的な介護予防事業と保健事業の実施

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	・高齢者は複数の慢性疾患の罹患に加え、身体的、精神・心理的、社会的等の多様な課題と不安を抱えやすく、フレイル状態になりやすい傾向にあります。高齢者の保健事業と介護予防の実施にあたっては身体的・精神的・社会的な特性を踏まえ、効果的かつ効率的で、高齢者一人ひとりの状況に応じたきめ細かな対応が必要となります。 ・医療保険制度において75歳に到達すると国民健康保険制度等から後期高齢者医療制度に異動しますが、これまで適切な接続がされず、重症化予防の取り組みが実施されていませんでした。

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・KDBシステムを活用し、医療レセプト・健診・介護レセプトのデータ等の分析を行い、事業対象者の抽出、地域の健康課題の把握・分析を行います。 ・地域の医療関係団体等と健康課題の共有を図り、積極的に連携します。 ・低栄養や重症化予防のため、訪問等による支援や、医療や介護サービスにつながっておらず健康状態が不明な者に対して、健診への受診勧奨や健康状態の把握のため、訪問等により相談・支援を行います。 ・通いの場等を通して、フレイル予防の普及啓発や、健康相談・健康教育を実施します。	会計年度任用職員人件費	1,324
		消耗品費	74
		燃料費	34
		通信運搬費	15
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
	健康状態が不明な者に対する支援	回							140	
	フレイル予防の栄養・口腔指導	回							60	

2年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,447	（そ）高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業受託金　1,425千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,425	
	一般財源	22	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	3	1	3	1,324 0	会計年度任用職員人件費
2	1	4	1	3	11	10	123 0	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業費
3								
4								
5								
6								
7								